

菊川市長定例記者会見【令和 7 年 4 月 18 日】

全国初！ 茶草場農法の茶葉で S D G s な取組 市内茶園を活用した企業のサステナビリティ向上事業 参加企業を募集しています

担当：建設経済部 茶業振興課 茶業振興係 (TEL 0537-35-0944)

1 主旨

2050 年までのカーボンニュートラル実現に向けては、2030 年までの 10 年間の重要とされています。大手企業では、気候変動に関する情報開示が実質義務化され、TCFD 提言への取組や ESG 情報開示が進んでいます。

市は、令和 6 年度に開催した菊川チャレンジビジネスコンテストで優秀賞を受賞した「Blue Farm（ブルーファーム）株式会社」とタイアップし、「菊川茶」を活用したサステナブルな取組を開始するとともに、本取組に参加する企業を募集します。



2 取組内容

取組内容は、有機 J A S 認証茶葉を使用した「お茶のボトルド飲料」を製造し、企業が脱炭素や生態系保全の取組として購入するものです。

世界中の企業が脱炭素に取り組む中、生物多様性をテーマに「茶草場農法」による有機栽培茶葉を G I 基準で荒茶にし、製造した飲料を市内や国内、または海外の企業が購入・消費することで、S D G s の取組の中でも新たなモデル事業となります。

また、茶草場の取組が商品価値に転嫁されないことが長年の地域課題でありましたが、本モデル事業により付加価値が上がるため、生産者収入の増加にも繋がります。

なお、生物多様性にフォーカスし、茶草場農法の茶葉を活用したボトルド飲料の販売は全国初の取組となり、今期の一番茶よりスタートを予定しています。

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言…気候関連の情報開示及び金融機関の対応をどのように行うかを検討するため設立された国際的組織。2017 年 6 月に公表した最終提言において、各企業の気候変動への取組を具体的に開示することを推奨している。

ESG…環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取った言葉で、企業が持続的な成長を維持するために必要な 3 つの項目。

ESG 情報開示…近年広がる ESG 投資の対象として選ばれるため、企業の ESG に関連する非財務指標を開示し、投資家をはじめとしたステークホルダーに提供すること。

2 ボトルド飲料の商品概要

商品名	※検討中※ 「菊川茶」と市内外の企業がコラボレーションする本取組や飲料が、国内外の関係者や企業等に認知されやすい名称を検討しています。
名称	緑茶（清涼飲料水）
内容量	290 ml アルミボトル
原材料名	緑茶（菊川市産）/ビタミンC
価格	企業向け卸価格 120 円／本（税抜）
募集数量	70,000 本 ※1 箱（24 本または 30 本）単位での購入が可能です。 ※定期配送については 2 箱から可能です。
賞味期限	製造日から 1 年半

3 メリット

購入企業	① 環境価値データの見える化 環境への取り組みの開示（統合報告書/サステナビリティレポート/CDP） ② 自社の取組を発信・PR 話題性の高い情報の発信（商談の話題やアイスブレイクに） ③ 茶摘み体験など社内外イベント活用 エンゲージメントの向上（手に触れ自社の環境対応を体感）
生産者	① 付加価値の向上（荒茶販売価格の向上＝収入増） ② 小売先の増加（企業社員等の購入先増加＝収入増） ③ 生産者情報のPR 広告無料（ボトルド飲料印字QRコードから発信可能） ④ 取組経費が無い（新たな機器や資機材の導入が不要） ⑤ 現状の荒茶製造（特別な製造方法ではなくG I 基準の製造で可）
市	① 茶畑の保全（景観、農地保全・耕作放棄地抑止） ② 交流人口増加（購入大手企業社員の茶摘み体験等）

4 今後のスケジュール

4 月下旬～5 月初旬	市内生産者の有機J A S 認証かつ茶草場園地の茶葉を刈り取り →「お茶のボトルド飲料」製造
6 月 4 日(水)	購入申込締切 ※ 深蒸し 茶の「6 月(む) 4 日(し)」から日にちを採用しています。
8 月初旬～9 月中旬	「Blue Farm 株式会社」による製品出荷開始

5 申込・問い合わせ先

Blue Farm 株式会社（担当：CTO 藤田 優介）

Email：contact@blue-farm.co.jp

会社 HP：https://blue-farm.co.jp

申込・問い合わせフォーム：

https://docs.google.com/forms/d/1F2E3YQi2ASFjnGimiWc495_uXHAmjKkK5plbKsHcigY/edit

※ご不明点やご質問等がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

※購入をご検討いただける企業様には、詳細資料の送付、事業所への訪問も実施させていただきます。



管理
茶畑

ChaaS に 変える

今の飲み物を変えるだけで
脱炭素の取組みが可能。
取組みやすいサステナソリューション！



既存の飲料

ダッシュボード



環境価値データの
見える化

LPページ



自社の取り組みを
発信・PR

体験



見学、茶摘み体験など
社内外イベント活用

導入による効果

→ 環境への取り組みの開示

統合報告書/サステナレポート/CDP

→ 話題性の高い情報の発信

商談のネタやアイスブレイクに

→ エンゲージメントの向上

飲料として手に触れ自社の環境対応を体感

導入した企業の声

成約率 **60%** ユーザー急増中！

取引先にサステナブル
対応を求められた
(ガス関連企業)

投資家要求に
対応するため
(一部上場企業)

サステナビリティを
重視するお客様が増加
(老舗ホテル)

入札加点になるため
導入を決断
(工業関連企業)

ChaaS で 変える未来

茶畑を活用した生物多様性対応
などを展開予定。
新たなESGへの取り組みを
創出します。



飲料の
提供と共に
実現済み

農業体験

GHG
削減吸収

再生
エネルギー
創出

カーボン
クレジット
創出

農福連携
障碍者
雇用

水源の
保全

生物多様性
の保全

有機/
データ化

人材活用

有機/
茶畑活用

有機/
茶畑活用

ソーラー
シェア

福利厚生

有機/
データ化

ChaaS



Blue Farm
Make society healthy

ブルーファーム株式会社
〒430-0933 静岡県浜松市中央区鍛冶町100-1ザザシティ浜松中央館
E-Mail : contact@blue-farm.co.jp

お問合せは





Blue Farm

Make society healthy

企業が茶畑を管理することは

未来への 意思表示だ。

置き換え

予算獲得の必要がない“置き換え”



01



02



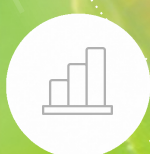
茶畑の保全

耕作放棄地化の防止
有機栽培で管理



ChaaS

04



03



環境価値の提供

ダッシュボード
開示データ



環境価値の創出

炭素削減・吸収
スマート茶畑化
(センサー・アプリ)



茶畑のサブスクサービス

ChaaS

茶畑 as a Service